

### 1. 基本的な考え方

住宅とは、自然環境や災害から生命や財産を守り、人生の大半を過ごす欠くことのできない生活の基盤となるもので、社会生活や地域のコミュニティ活動を支える拠点でもあります。

また、住宅は単なる私的財産にとどまらず、都市や農山村の景観、歴史を形成する社会的資本としての性格を有しており、安全、環境、福祉、文化等で都市と密接に関連しています。

このことから、住宅とともに地域環境も含めた住生活を豊かにしていくことが、ゆとりある豊かな暮らしにつながると考えます。

そこで、豊かな住生活を実現するため、本計画では基本理念を定め、住生活向上のための3つの目標と10の施策の方向性に則して総合的に住宅・住環境施策を展開します。

### 2. 基本理念

#### 住みたいまち、暮らし続けたい 「交流拠点都市金沢」の住まい・暮らしづくり

多様化する市民の居住ニーズを見据えて、進展する少子高齢社会への対応、環境問題への対応、増加する空き家・空き地への対応、定住促進に向けた取り組みなど社会経済情勢の急速な変化に的確に対応し、「安全」に「安心」して「快適」に生活できる“住まい・暮らしづくり”を展開します。

また、歴史を礎として文化に彩られた本市は、他都市に類を見ない資産を有しており、その資産を活用し、個性ある新たな価値を創造し続ける「交流拠点都市金沢」として、人と人との絆を大切にしたい個性ある魅力的な“住まい・暮らしづくり”を目指します。

さらに、実際に市民一人ひとりの住生活をより豊かなものとするために、福祉や都市計画等の市民生活に深く関わる各分野との連携強化はもちろんのこと、市民自らが主体的にまちづくりに参画するとともに、地縁組織やNPO、民間事業者等との協働によって、地域の実情に応じたきめ細やかな“住まい・暮らしづくり”を行います。

### 3. 住宅・住環境施策の目標と施策の方向性

#### 【目標 1】安全に安心してすごせる質の高い住まい・暮らしづくり

市民の誰もが安全に安心して暮らせるように、老朽化した住宅の改修や耐震化を促進し、空き家の適正管理や流通促進を図るとともに、住まいのセーフティネットとして機能している市営住宅を適正に管理し、計画的な更新を行います。また、市民との協働による地域防災力の強化と連動した良好な住まい・暮らしづくりを推進します。

- 方向性 1－1 ……住宅・住環境の安全性の向上
- 方向性 1－2 ……良質な住宅ストックの形成や宅地供給の誘導
- 方向性 1－3 ……市営住宅の適正な管理と計画的な更新
- 方向性 1－4 ……コミュニティを活かした地域防災力の強化

#### 【目標 2】歴史と文化が感じられる心豊かな住まい・暮らしづくり

金沢の恵まれた自然や地形を背景にした歴史的なまちなみや伝統的な建築物の保全を図りながら、北陸新幹線金沢開業による交流人口増大への対応や、まちなか暮らしの魅力の情報発信などによる定住人口の増加を図り、「交流拠点都市 金沢」の生活・文化が集約したまちづくりを推進します。

- 方向性 2－1 ……まちなか区域の定住促進
- 方向性 2－2 ……金澤町家の保全・活用の推進
- 方向性 2－3 ……金沢の住まい・暮らしの魅力向上と情報発信

#### 【目標 3】人と人との絆、人と自然の調和による 持続可能な住まい・暮らしづくり

高齢者や障害のある人が自立した生活をおくるための住まいの安定確保や、子育て世代に対する居住支援を推進するとともに、地球温暖化防止を図るためにも、環境にやさしい住まい・暮らしづくりを推進します。また、次世代の金沢を担う人材の育成を推進します。

- 方向性 3－1 ……誰もが住みやすい住環境の向上
- 方向性 3－2 ……環境にやさしい住まい・暮らしの普及促進
- 方向性 3－3 ……次世代の住まい・暮らしを支える人材の育成

## 4. 施策の体系

### 住宅・住環境の課題

#### 【見直しの重点及び課題】

##### <重点①>

- 進展する少子高齢社会への対応
- ・高齢者のみの世帯や単身世帯の増加
  - ・人口減少社会の到来

課題A：高齢者や障害のある人、子育て世帯など誰もが住みやすい住宅・住環境の形成

##### <重点②>

- 環境問題への対応
- ・再生可能エネルギー導入の気運の高まり
  - ・住宅部門からの低炭素社会への取り組み

課題B：環境にやさしい住まい・暮らしの普及促進

##### <重点③>

- 増加する空き家、空き地への対応
- ・高齢者のみの世帯や少人数世帯の増加
  - ・コミュニティの希薄化

課題C：空き家化の抑制と適正な維持管理、低未利用地の土地利用転換による活用

##### <重点④>

- 定住促進に向けた取り組み
- ・交流人口の拡大
  - ・新たなライフスタイルの提案

課題D：二地域居住等の新たなライフスタイルの提案や金沢町家の保全・活用による魅力ある住まい・暮らしづくり

#### 【今後とも継続して対応が必要な課題】

課題E：住宅・住環境の安全性の向上や良質なストックの形成

課題F：市営住宅の適正な管理と計画的な更新

課題G：まちなか区域の定住促進の改定

課題H：地域コミュニティや次世代を担う人材等の育成・支援

### 住宅・住環境施策の理念と目標・方向性

基本  
理念

住みたいまち、暮らし続けたい「交流拠点都市金沢」の住まい・暮らしづくり

#### 【目標1】

安全に安心してすごせる  
質の高い住まい・暮らしづくり

市民の誰もが安全に安心して暮らせるように、老朽化した住宅の改修や耐震化を促進し、空き家の適正管理や流通促進を図るとともに、住まいのセーフティネットとして機能している市営住宅を適正に管理し、計画的な更新を行います。また、市民との協働による地域防災力の強化と連動した良好な住まい・暮らしづくりを推進します。

#### 【目標2】

歴史と文化が感じられる  
心豊かな住まい・暮らしづくり

金沢の恵まれた自然や地形を背景にした歴史的なまちなみや伝統的な建築物の保全を図りながら、北陸新幹線金沢開業による交流人口増大への対応や、まちなか暮らしの魅力の情報発信などによる定住人口の増加を図り、「交流拠点都市金沢」の生活・文化が集約したまちづくりを推進します。

#### 【目標3】

人と人との絆、人と自然の調和による  
持続可能な住まい・暮らしづくり

高齢者や障害のある人が自立した生活をおくるための住まいの安定確保や、子育て世代に対する居住支援を推進するとともに、地球温暖化防止を図るためにも、環境にやさしい住まい・暮らしづくりを推進します。また、次世代の金沢を担う人材の育成を推進します。



【方向性 1 - 1】  
住宅・住環境の安全性の向上

【方向性 1 - 2】  
良質な住宅ストックの形成や宅地供給の誘導

【方向性 1 - 3】  
市営住宅の適正な管理と計画的な更新

【方向性 1 - 4】  
コミュニティを活かした地域防災力の強化



【方向性 2 - 1】  
まちなか区域の定住促進

【方向性 2 - 2】  
金澤町家の保全・活用の推進

【方向性 2 - 3】  
金沢の住まい・暮らしの魅力向上と情報発信



【方向性 3 - 1】  
誰もが住みやすい住環境の向上

【方向性 3 - 2】  
環境にやさしい住まい・暮らしの普及促進

【方向性 3 - 3】  
次世代の住まい・暮らしを支える人材の育成